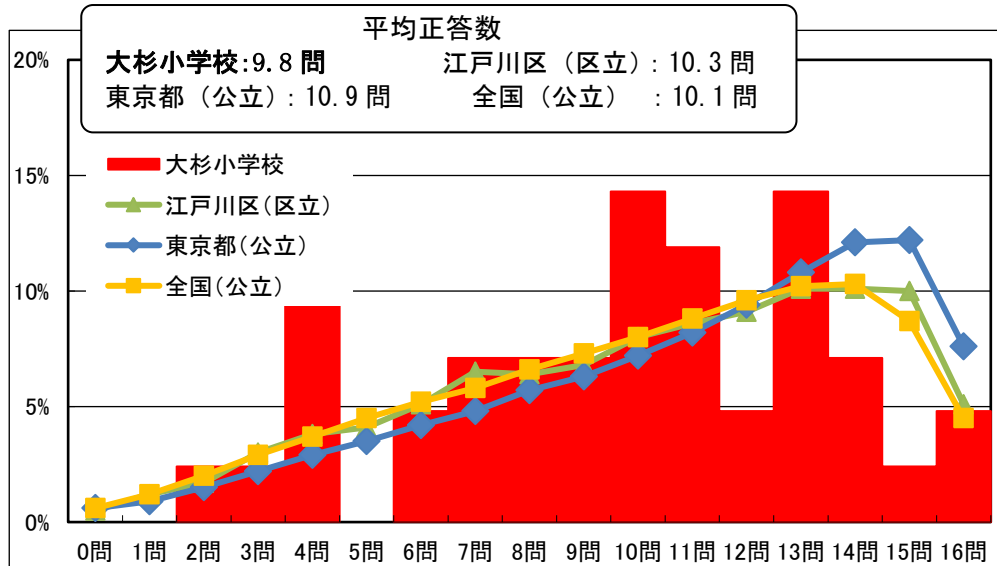


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【算数】大杉小学校

正答数分布



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

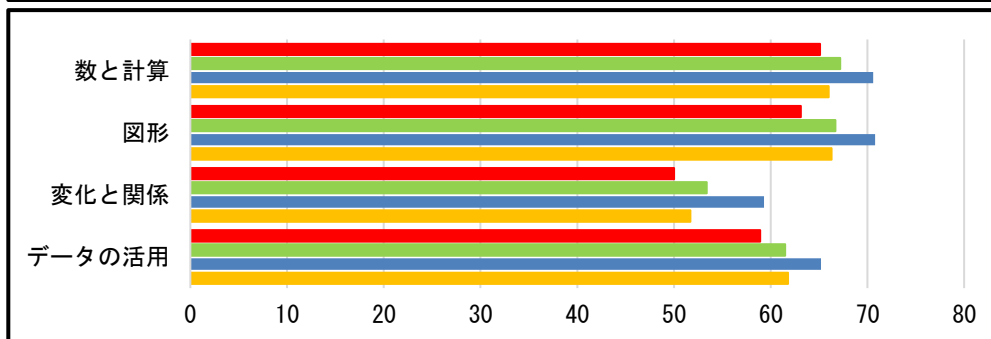
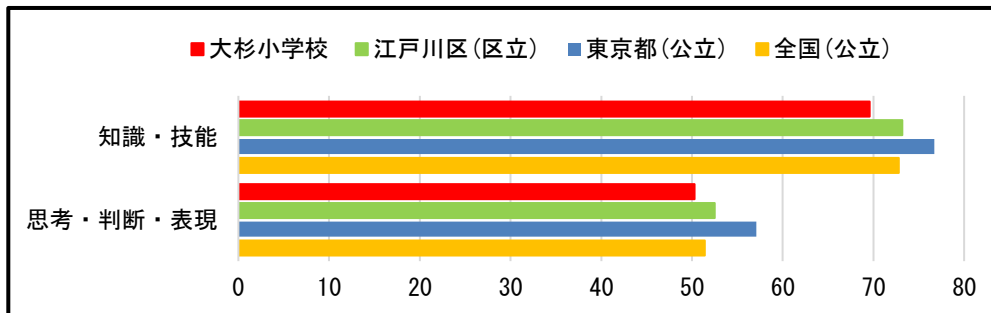
算数	上位 ←		→ 下位	
	A層 14~16問	B層 12~13問	C層 8~11問	D層 0~7問
大杉小学校	14.3	19.1	40.4	26.2
江戸川区(区立)	25.2	19.2	29.8	25.8
東京都(公立)	31.9	20.2	27.4	20.5
全国(公立)	23.5	19.8	30.7	26.0

【平均正答率の差】

大杉小学校	61%
江戸川区(区立)	64%
東京都(公立)	68%
全国(公立)	63.4%
都との差	-7%

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているほどの集合を示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【分析結果と授業改善に向けて】

【分析結果】

- ・ C層が40.4%と東京都と比べて約1.5倍となっており、学習内容が十分に定着していない。
- ・ A層が14.3%と東京都と比べて少ない。

【授業改善】

- ・ 「個の考え」が構築できるよう、「基礎・基本」の定着を重視した上で、「自力解決」の時間を多く確保し、「式・図・言葉」の様々な方法で考えさせていく。「個の考え」を既習事項を踏まえ説明したりすることを重視した授業改善を図っていく。